

ねむろのみず



第4号

平成29年8月発行

特集

水道事業のいま ～安全な水を安定供給していくために～

水道事業では、皆様に安心して水道水をお使いいただくために、安全な水の安定供給に努めているところですが、近年の人口減少に伴う利用者数の減少や、節水機器の普及等により、水道使用量が減少し、経営状況が大変厳しくなってきました。今回は、当市の水道事業を取り巻く現状や課題についてお知らせします。

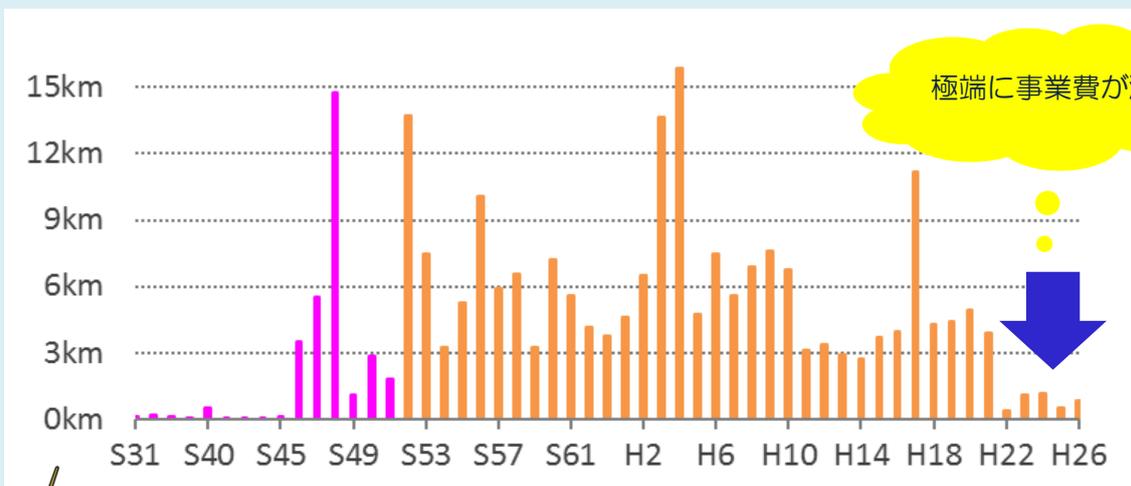
課題① 耐用年数を超えた資産が増加している



本市の水道は、明治29年に市内有磯町の貯水池を水源に根室水道として給水を開始して以来、根室上水道事業区域全体で約260kmの水道管が埋設されています。

その後、上水道事業の拡張とともに水道施設が整備されてきましたが、施設の経年劣化が進んでいる状態です。このまま放置すると、水道管であれば漏水事故、機械であれば故障などが起こり、市民生活に大きな支障をきたす恐れがあることから、更新事業を行うことが緊急の課題となっています。

更新の必要な管路の年度別延長



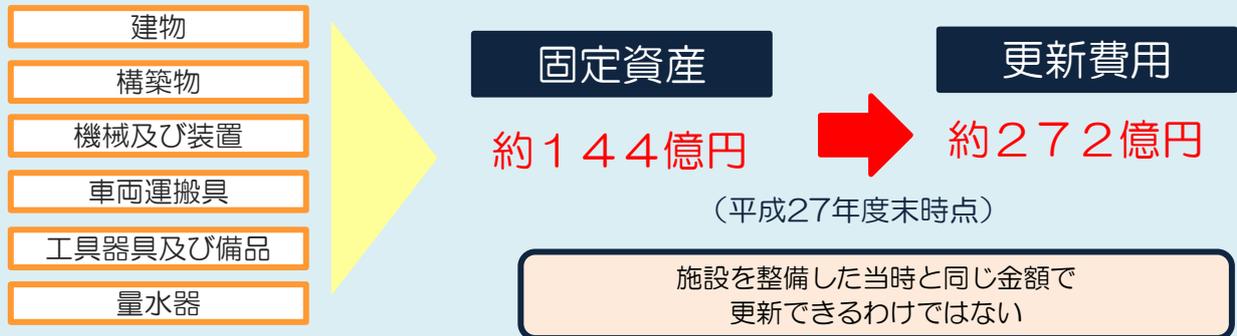
極端に事業費が減少!!



このグラフは、現在埋設されている水道管路について、いつ事業を行った分がどれだけ残っているのかを示しています。ピンク色の部分は、法定耐用年数である40年を超えた水道管を表しており、安全な水を安定的に供給するためにも、計画的に施設を更新をしていく必要があります。

更新計画はどうなっているの？

平成27年度末時点で、根室市水道事業における建物・構築物・機械および装置などの固定資産の額は144億円ですが、これを全て更新する場合、およそ272億円かかります。これは、固定資産の額を過去から積み上げて計算しているため、今の単価で更新工事を行うと、物価が当時と違うことから、費用が倍近くに膨らむと考えられるからです。



これまでは、緊急度の高い（漏水等の可能性が高い）管路などの更新を優先し、それ以外の管路は、漏水調査などを行って、漏水箇所を補修しながら延命を図ってまいりましたが、このままの状況で更新していくと、完了するまでに約100年かかる計算となり、耐用年数を超えた資産が減少しないことになってしまいます。

水需要の規模に見合った更新計画を策定中



すべての資産を
更新した場合

更新費用

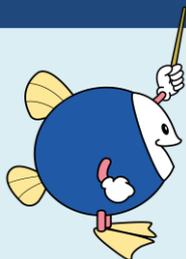
法定耐用年数40年
で割り返すと...

1年あたり

約272億円

約6.8億円

更新する資産の限定 や、 **耐用年数の見直し** を行い
(遊休資産は更新しないなど) (資産の品質が従来よりも向上しているため)
1年にかかる費用が縮小されるような更新計画を策定中です。



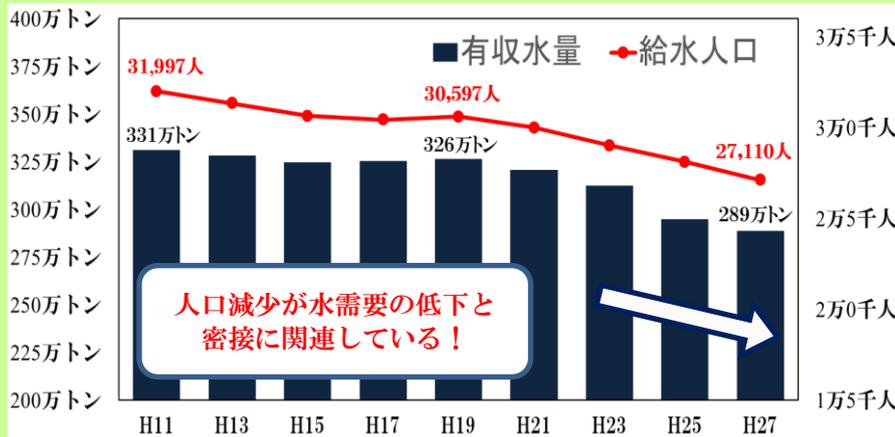
水道事業は、人口増加に伴い給水区域を拡張し、施設も増設してきましたが、現在は人口も減少しており、水の需要も低下しています。そのため、需要に見合った規模の資産に縮小したり、更新する資産を限定する必要があります。

また、更新後の資産がこれまでよりも質の高いものであることから、耐用年数を見直すなどして、1年当たりにかかる費用が縮小されるように更新計画を策定しているところです。



水道事業財政の健全化

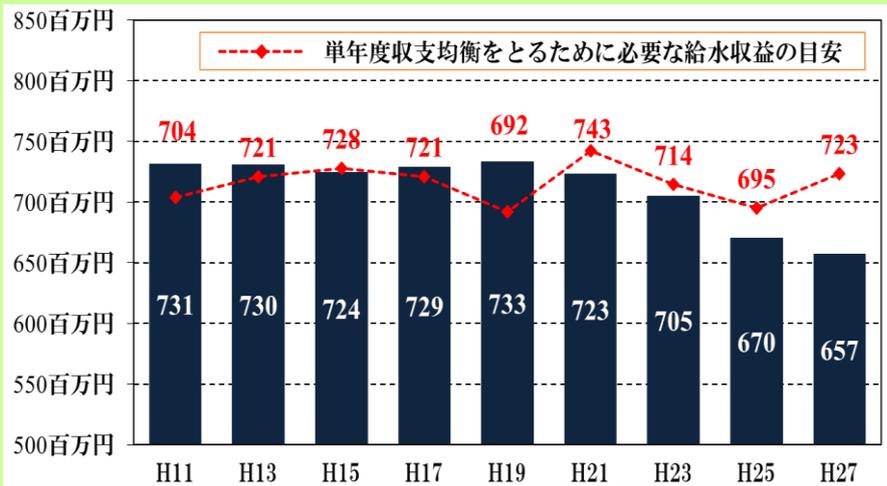
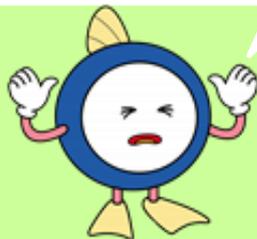
課題② 給水収益の低下による経営状況悪化



人口減少が水需要の低下と密接に関連している！

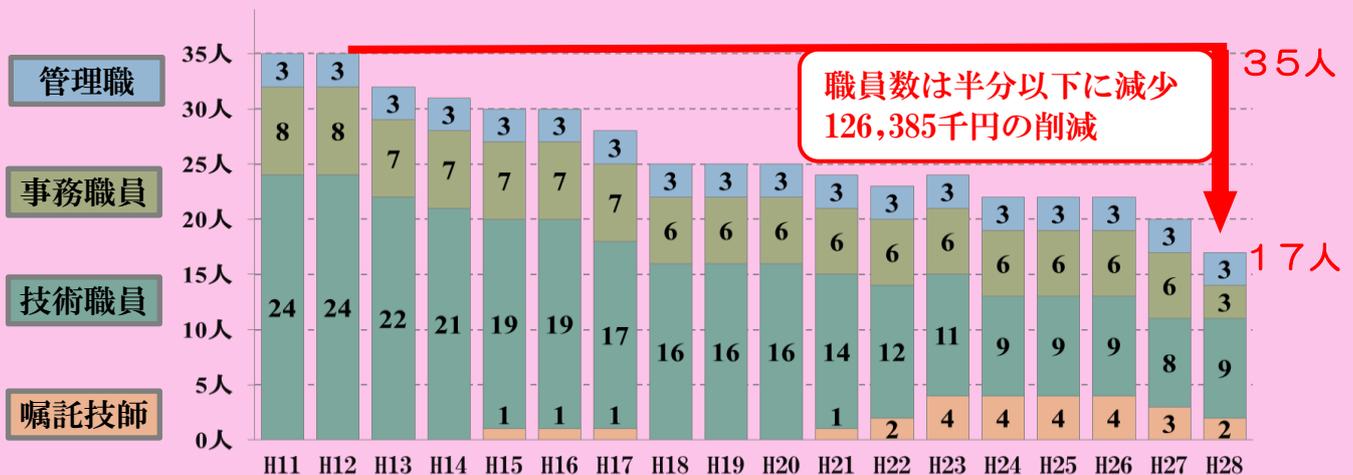
水道事業は、皆様からいただく水道料金により、経営に必要な費用をまかなっていますが、平成19年ごろから、給水人口とともに、有収水量（料金徴収の対象となった水量）の減少が進み、今後も同様に減少の見通しですので、水道会計は非常に厳しさを増すことが想定されます。

年々、給水収益は減少していますが、事業の費用自体は減少しないため、今後も収支均衡が取れない見込みです。



次世代への技術継承

課題③ 技術の継承を図るための体制づくり



平成11年から平成28年にかけて職員数は半減しましたが、これまでと同様に水道事業を維持していくために、業務を外部委託するなどして、経費の縮小と業務の効率化を図ってきました。現在、団塊の世代の退職や、業務の外部委託などにより、これまで職員が現場で引き継いできた技術を次世代へ継承することが難しくなっている状況です。責任を持って業務に取り組むためには、計画的な職員の採用と外部委託のバランスが非常に重要な課題となっています。

今後の収支見通し

平成27年度以降単年度収支均衡が取れず、平成30年度末には内部留保資金は枯渇し、資金不足額が発生する見込みとなっています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	(千円)
単年度収支	△66,656	△81,211	△99,430	△132,485	△171,440	△201,975	△238,190	
内部留保	196,994	115,783	16,353	-	-	-	-	
資金不足額	-	-	-	116,132	287,572	489,547	727,737	
資金不足比率	-	-	-	18.51%	45.77%	78.77%	118.68%	※平成27年度末時点



資金不足比率が10%を超えた場合、起債の借入が協議制から許可制へ
 " 20%を超えた場合、経営健全化計画の策定が義務付け

これまで行ってきた経営改善

- (1) 事務経費などの経費縮減
- (2) 低利率の企業債への借換えなどの国の制度の利活用
- (3) 滞納整理強化などの未収金対策
- (4) 職員数の削減、組織機構の見直し、業務の外部委託などの業務の効率化

水道事業及び下水道事業運営委員会を開催

今年3月28日に、根室市水道事業および下水道事業運営委員会を開催し、平成28年度決算見込および平成29年度当初予算や建設改良事業について、また、水道事業の現状と課題について話し合いました。

特に、水道事業会計では収支均衡が取れておらず、今後も大変厳しい財政状況が続くと見込まれることから、更なる経営努力を前提として、料金体系のあり方を含めた、水道料金の適正化の必要性などに関して、ご理解をいただきました。



将来にわたって皆様に安全な水道水を安定供給していくために、今後も経費削減等の経営改善を続けていくとともに、より適正な水道料金体系のあり方を検討し、水道事業の経営基盤の強化に取り組んでまいります。

お知らせ

ねむろのみずへの手紙を受付中！

今回折り込んだ「ねむろのみずへの手紙」にて、上下水道事業に対する意見・要望など、皆様の声をお寄せください。

上下水道料金のお支払いは

便利な『口座振替』で

詳しくは根室市上下水道料金センターまで

水洗トイレへの

改造を応援します

工事資金の融資あっせん制度があります。

詳しくは下水道普及担当まで



水道及び下水道に関する
各種お問い合わせ先はこちら

根室市役所 ☎0153-23-6111

お引越しの手続き等・水道料金について
根室市上下水道料金センター
内線2007・2008

漏水・給水装置について
下水道維持担当 内線2012・2013

排水のつまり・トイレの水洗化について
下水道普及担当 内線2004

経営状況のこと・「ねむろのみず」について
上下水道総務担当 内線2009